

小津監督作品

9月18日(土) 10:00~ 新星劇場
9月22日(水) 14:00~ 新星劇場
9月26日(日) 10:00~ 茅野市民館

「お早よう」
小津監督の喜劇作家としての手腕が冴える傑作。近所付き合いの小さな波風にふり回される大人たちと、テレビを買ってとねだる子供たち。東京郊外の新興住宅を舞台に、戦後の庶民生活を小津流に活写した作品で、軽さのある演出が際立っている。幼い兄弟のオナラのギャグが実に微笑ましい。

ゲスト：兼松熙太郎監督(26日)
監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎 製作：1959年 配給：松竹 時間：94分

©1959 松竹株式会社

活動弁士が贈るサイレント映画

9月25日(土) 16:30~ 茅野市民館

髯を剃ることで広がる世界。小津監督が贈るサイレント、コメディ。

「淑女と髯」
活動弁士：澤登翠さん
立派な髯を生やした学生・岡島は、広子を不良モガたちから救ってやる。なにもかもがうまくいかない岡島に広子は髯を剃るようにすすめ、それに従うことによって清潔な二枚目になった岡島は……

監督：小津安二郎 原作：北村小松、小津安二郎 製作：1931年 配給：松竹 時間：75分

©1931 松竹株式会社

第60回日本映画監督協会新人賞受賞作品

9月21日(火) 10:00~ 9月23日(木) 19:00~
9月26日(日) 13:00~ 新星劇場

家族をひとつにしてくれたのは骨になった母でした。

「洗骨」
短編映画「born, bone, 墓音。」を原案に、ゴリが本名の照屋年之義で監督・脚本を手がけた長編作品。新城家の長男・剛が母・恵美子の「洗骨」のために故郷の栗国島に帰ってきた。沖繩の離島・栗国島に残る風習「洗骨」をテーマに、家族の絆や祖先とのつながりをユーモアを交えて描いていく。

監督・脚本：照屋年之 製作：2018年 時間：111分 配給：ファンタム・フィルム ©「洗骨」製作委員会

諏訪エリアロケ作品

9月22日(水) 19:00~ 9月24日(金) 10:00~ 新星劇場
9月26日(日) 17:00~ 茅野市民館

サヨナラがくれた僕たちののはじまりの物語

「サヨナラまでの30分」
バンド「TECHOLL」がメジャーデビューを目前に解散してから1年後、メンバーたちの前に突然見知らぬ大学生の颯太が現れた。バンド再結成をメンバーに迫る颯太の中身は、なんと1年前に死んだボーカルのアキだった。颯太が偶然拾ったカセットテープを再生する30分だけ、アキは颯太の体を借りて入れ替わる。

監督：萩原健太郎 脚本：大島里美 製作：2020年 配給：アスミックエース 時間：114分 ©2020「サヨナラまでの30分」製作委員会

お子様と一緒に

9月23日(木) 10:00~ 新星劇場

過去、現在、未来をつなぐ、涙と絆の物語

「STAND BY ME ドラえもん2」
2014年公開「STAND BY ME ドラえもん」の続編。ある日のび太は、古くいまのぬいぐるみを見つける。それは、優しかったおぼあちゃんとの思い出の品だった。「おぼあちゃんに会いたい！」ドラえもんは反対を押し切り、タイムマシンで過去へ向かうのび太。おぼあちゃんは突然やってきた少年をのび太と信じ、受け入れてくれる。そして、「あなたの嫁さんをはじめて目見たくなっちゃった」おぼあちゃんのこの一言から、ドラえもんとのび太の大冒険が始まる。

監督：八木竜一 脚本：山崎貴 製作：2020年 配給：東宝 時間：96分 ©Fujiko Pro / 2020 STAND BY ME Doraemon 2 Film Partners

9月19日(日) 10:00~ 新星劇場
9月23日(木) 12:30~ 新星劇場

すみっコたちが絵本の中で大冒険!

「映画 すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」
すみっコを好む個性的なキャラクターたちが、不思議な絵本の中で繰り広げる大冒険を描く。ある日の午後、お気に入りの喫茶店「喫茶すみっコ」を訪れたすみっコたちが注文した料理を待っていると、地下室から謎の物音が聞こえてくる。音の正体を確かめに行ったらすみっコたちは、そこで1冊の飛び出す絵本を発見する。

監督：まんきゅう 脚本：角田真志 製作：2019年 配給：アスミック・エース 時間：65分 ©2019 日本すみっコぐらし協会映画部

9月20日(月) 10:00~ 新星劇場
9月25日(土) 9:30~ 茅野市民館

信じぬけ! 星を信じた少年とゴジ人間の物語。

「映画 えんとつ町のプペル」
お笑いコンビ「キングコング」の西野亮廣のプロデュースにより、イラスト、着色、デザインなど総勢33人のクリエイターによる分業体制、クラウドファンディングを使い資金を募って制作されたベストセラー絵本「えんとつ町のプペル」をアニメ映画化。煙突だらけの「えんとつ町」。そこかしこから煙が上がりその町は黒い煙に覆われ、住人たちは青い空や星が輝く夜空を知らずに生活していた。

監督：廣田裕介 脚本：西野亮廣 製作：2020年 配給：東宝・吉本興業 時間：100分 ©西野亮廣 / 「映画えんとつ町のプペル」製作委員会

9月25日(土) 12:30~14:00 (受付開始:11:00) 茅野市民館
公益社団法人諏訪圏青年会議所【20周年特別記念講演】

『キングコング 西野亮廣講演会in茅野』
~日本中から笑われた夢がある~

■参加申込方法
公益社団法人諏訪圏青年会議所の公式HPよりお申し込みください。
(申込期日：8月23日~9月10日)

■問い合わせ先
諏訪圏青年会議所 ☎0266-54-6980

みんなで観たい話題作

9月19日(日) 14:00~ 新星劇場
9月25日(土) 19:30~ 新星劇場

何かかかじまる予感がして、心臓が鳴った。

「花束みたいな恋をした」
東京・京王線の明大前駅で経電を逃したことから偶然に出会った山音と八谷絹。好きな音楽や映画が噛み合いに一緒に、あっという間に恋に落ちた妻と絹は、大学を卒業してフリーターをしながら同棲を始める。唯一無二の言葉で紡ぐ忘れられない15年間。最高峰のスタッフとキャストが贈る、不滅のラブストーリー誕生!

監督：土井裕泰 脚本：坂本裕二 製作：2021年 時間：124分 配給：東京テアトル、リトルモア

©2021「花束みたいな恋をした」製作委員会

9月21日(火) 19:00~ 新星劇場
9月26日(日) 13:00~ 茅野市民館

戦争に負けてもこの国は誰にも渡さない。

「日本独立」
第2次世界大戦直後のGHQ占領下の日本を舞台に、一刻も早い日本の独立を求めて尽力した吉田茂と白洲次郎を描いた人間ドラマ。親子ほど年離れた2人の絆を軸に、終戦から憲法制定、独立までの歴史の舞台裏を、日米両国の視点からスリリングに描く。終戦直後に外務大臣に就任した吉田茂は、日本の再出発のため、旧知の仲である白洲次郎を呼び寄せる。

ゲスト：伊藤俊也監督(26日)
監督・脚本：伊藤俊也 製作：2020年 配給：シネメディア 時間：127分

©2020「日本独立」製作委員会

9月18日(土) 14:00~ 新星劇場
9月24日(金) 14:00~ 新星劇場

ただいま。このひと言のために、旅に出る。

「男はつらいよ お帰り 寅さん」
山田洋次監督による国民的人情喜劇「男はつらいよ」シリーズの50周年記念作品。倍賞千恵子、前田吟、吉岡秀隆らに加え、シリーズの看板俳優であり、96年に亡くなった瀧美清も出演。柴又の帝釈天の参道にかつてあった団子屋「くるまや」は、現在はカフェに生まれ変わっていた。その裏手にある住居では車寅次郎の甥である満男の妻の7回忌の法事で集まった人たちが昔話に花を咲かせていた。

監督・原作：山田洋次 脚本：山田洋次、朝原雄三 製作：2019年 配給：松竹 時間：116分 ©2019 松竹株式会社

9月20日(月) 19:00~ 新星劇場
9月25日(土) 10:00~ 新星劇場

恋も、笑いも、アクションも、しゃべって観せましょう!

「カツベン！」
周防正行監督が、サイレント映画時代を舞台に一流活動弁士になることを夢見る青年を主人公にしたコメディドラマ。当時の人気職業であった活動弁士を夢見る俊太郎が流れ着いた小さな町の閑古鳥の鳴く映画館・青木館。雑用ばかりを任せられる毎日を送る俊太郎の前に、幼なじみの初恋相手、大金を狙う泥棒、泥棒と二世活動弁士を追う警察などが現れ、俊太郎はさまざまな騒動に巻き込まれていく。

監督：周防正行 脚本：片島章三 製作：2019年 配給：東映 時間：127分 ©2019「カツベン！」製作委員会

9月20日(日) 14:00~ 新星劇場
9月25日(土) 13:00~ 新星劇場

人は、生きていくかぎり生きぬきたい。

「午後の遺言状」
老齢の女優哲子は避暑のために、豊子に管理を委託していた山間の別荘に滞在する。そこで、人間の老いと死や夫婦に関わる事件に次々と遭遇する。奇妙な短い遺言とともに大きな石を残した用意の良い老人の自殺、重度の認知症になったかつての女優仲間と、献身的に看護するその夫との再会と別れ、亡き夫の思わぬ人物との不倫など。

監督・脚本：新藤兼人 製作：1995年 配給：日本ヘラルド映画 時間：112分

©近代映画協会

話題の海外作品

9月18日(土) 19:00~ 新星劇場
9月22日(水) 10:00~ 新星劇場

いろいろな形、さまざまな色、それぞれが唯一無二。

「だれもが愛しいチャンピオン」
バスケットボールのプロリーグでコーチを務めるマルコは問題を起こし、解雇されてしまう。裁判所から社会奉仕を命じられたマルコはハンディキャップを持つ選手たちのチームコーチとなる。彼らの純粋さや情熱、豊かなユーモアに触れたマルコは一念発起し……。出会いと絆を描いた心温まる感動ドラマ。

監督：ハビエル・フェセン
脚本：ダビド・マルガス、ハビエル・フェセル 製作：2018年 製作国：スペイン 配給：シンカ 時間：118分 ©Rey de Babia AIE, Peliculas Pendelton SA, Morena Films SL, Telefonica Audiovisual Digital SLU, RTVE

9月19日(日) 19:00~ 新星劇場
9月21日(火) 14:00~ 新星劇場
9月26日(日) 19:00~ 新星劇場

都会から辺境の村へ赴任した教師と村人たちの心の交流を描いた感動作。

「ブータン 山の教室」
標高4800メートルにあるルナナ村を舞台に、ミュージシャンを夢見る若い教師ウゲンは、ブータンで最も僻地にあるルナナ村の学校へ赴任するよう言い渡される。村人たちのシンプルながらも尊い暮らしを美しい映像で描き、本当の幸せとは何かを問いかける。

監督・脚本：パオ・チョニン・ドルジ 製作：2019年 製作国：ブータン 配給：ドマ 時間：110分 ©2019 ALL RIGHTS RESERVED

小津安二郎と蓼科高原
昭和29年夏、前年に「東京物語」を撮り終えた小津は、脚本家であり盟友の野田高梧に誘われ、初めて蓼科高原の野田の山荘「雲呼荘」を訪れました。

「蓼科日記」に、8月18日、小津安二郎が最初に記した感想が「雲低く寝待月出で、遠望模糊、まことに佳境、連日の俗腸を洗つてあります。」

蓼科の自然、人情、旨い酒がすっかり気に入り、それまでの「東京物語」から蓼科に仕事場を移し「東京騒動」以降、送るまでの7作品全てのシナリオがこつこつと蓼科で書かれることになりました。

一本シナリオが完成することに日本酒の空瓶が並んだという有名なエピソードがのこされています。

高原での生活を愉し、酒を愛し、訪れる人々をもてなし、時に連れ立って散策する。また、地元の人々とも気さくに付き合っていました。

昭和31年蓼科に腰を据えシナリオを書き始めた小津が借りた山荘を「無藝荘」と命名、平成15年小津生誕百年の記念事業として、現在の場所に移築改修し保存されました。

第20回短編映画コンクール 入選作品

9月25日(土) 16:00~ 新星劇場にて一挙上映 **無料**

この中からグランプリ・準グランプリ・入賞が選ばれます。〈エントリー順〉

消しかずの花
小池 匠 監督
小学4年生の波田樹は友達のエリカと先生にイタズラをしていたが、ある日先生にバレてしまい、呼び出された樹は思わず、一緒にイタズラをしていた友達の名前を言ってしまった。友達の反感をかってしまった樹は仲間外れに。小学校を舞台にした作品でセリフではない部分で進んでいくストーリーと小学生たちの表情に注目。

吉川の通夜
草刈 勲 監督
男は、20代から30代にかけて共に過ごした友人を亡くした。お通夜に出席するが、少し変わったお通夜。ためらいながらも、これから先の未来がどうなってしまうのか、男は不安に思うのであった…。

ROUTINE
宮原 拓也 監督
無口なテツはジャグリングに明け暮れ、恋人に家を追い出されてしまう。一方、公園清掃20年のミドリはひねくれた性格で、新たに清掃員としてテツをもいびる。ある時テツが清掃用具をジャグリングするのを見たミドリは、清掃にそれを活かせることに気づく。キートンやチャップリンの影響を受けた言葉にたよらないビジュアルコメディ。

君の心が聴けるウサギの耳がほしい。
市川 良也 監督
国籍・年齢関係なし、高校生のインターナショナルクラス。体育祭で問題を起こしたため、文化祭は無事に終わらせなくてはならない。実行委員に選ばれたのは、クラスで唯一の平凡な男子高校生。彼をサポートするのは中年男子高校生と熟女女子高校生、そして暴力外国人女子高生だった。果たして文化祭は成功するのか? 多文化共生社会の青春映画。

その男ら、職業オネエ!
カツヲ 監督
イボ☆スターというユニットで活動するオネエタレントの好子と法子。雑誌撮影をハイテンションでなし、ボジティブにインタビューに答えるも、控室に戻った途端、日ごろの疲れが一気に噴出した好子は…。多様性、LGBTが叫ばれる昨今、オネエというものを題材に、また芸能界という特殊な業種に悩みながらも仕事をしていく光と影をサブの題材とした。

短編審査委員長
伊藤俊也監督

短編特別審査員
工藤雅典監督 椿原久平監督 富永憲治監督 鈴木元監督
上映スケジュールはホームページ・SNS等でお知らせします。

緑の雪
古川原 壮志 監督
ベッドの上で一日を過ごす寝たきりの老人。ある冬の夜、老人は窓の外に降る雪を見て思い出す。それは先立った妻との最後の時間だった。

人の愛を喰らって、その屍を生きてみる
加賀 成一 監督
八木まゆみが40過ぎの売れないお笑い芸人とデートすると聞いて心配になった森があるはデートに付き添った。待ち合わせ場所で売れない芸人と、友達を心配するかわかって出会う…。またその場所に居合わせた人々の恋愛に偶然直面するかわかる。愛とは何なのか? 好きとは何なのか? 様々な愛の形が交差するワンシチュエーションコメディ。

干し柿
四季 涼 監督
庭木をバツサリと切ることにしたサクラ(60歳)がおかした「絶対に取り返しのつかない過ち」と、庭木の伐採を引き受けてしまった造園屋(34歳)に降るかかる「大き過ぎる責任」とは…。東京に大雪が降った8年前に始まっていた、サクラと黄色いリボンの愛の物語。人生で重要なアイテムにならざる木の大切さを伝えたコメディ。8Kで撮影。

月と幽体
横田 新 監督
幽体離脱してしまった少年少女が、ともに自分の体に戻る方法を探る一夜の物語。2人にはそれぞれ抱える悩みや秘密があった…。ロスコープという実写を撮影してアニメにする手法により制作。幽体離脱という非日常と日常の境を描く方法として採用。作画、背景、色、特殊効果、CG、音、音楽などすべて学生が一から作り上げた。

14分の2の私の大切な思い出
あぐり 監督
“あい”は七夕の日にくなくなった。保護犬“あい”との出会いと別れ。あいが生きた証を残したい。そんな私の思い出を、バラバラ漫画でかえしてくれた作品。

無料 9月25日(土) 15:00~ 茅野市民館
グランプリ作品の発表・表彰式

無料 9月25日(土) 16:00~ 新星劇場
短編映画コンクール各作品上映